



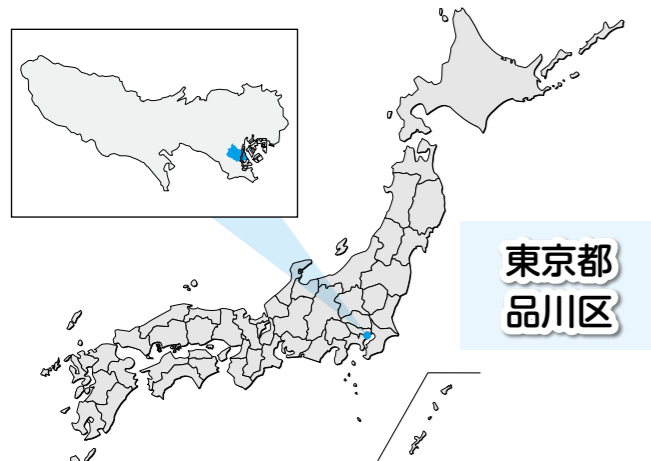
岩瀬森南條結季さん

私のふるさは、東京都品川区の武蔵小山<sup>むさしこやま</sup>という街です。約100年前まではタケノコが特産の農村地帯でしたが、鉄道が通ってからは、都心に近い住宅街として発展してきた歴史があります。最近は駅前の再開発でタワーマンションが建設され、街の印象がガラリと変わりました。

武蔵小山といえば商店街が有名です。昭和31年にオープンした日本初の大型アーケード街「パルム」は、現在約800mの区間に約250店舗が軒を連ねています。お小遣いを握り締めて、友人や家族への贈り物を買に行ったのも良い思い出です。

また、意外と緑が身近なのも特色の一つです。「都立林試の森公園」は、かつて国の林業試験場だった場所で、100年以上の歴史があります。そのため幹回り3mを超えるケヤキ、クスノキ、ポプラといった巨木をはじめ、珍しい樹木が数多く生育しています。クスノキに登ったり、犬の散歩中にヘビに出会ったり、ユーカリの実を拾ったりと、何度行っても新しい発見があります。

4年前から須賀川に住み始めましたが、昨年初めてお祭りや花火を家族と楽しむことができ、街の熱気に感動しました。今後は、須賀川で生まれた子どもの成長と、駅西口・東西自由連絡通路の完成が楽しみです。



東京都品川区



サークルとわたし



てわっさの会

代表者 後藤幸子  
 会員 15人  
 発足年月 令和4年4月  
 連絡先 ☎0248(72)1067  
 活動日時 毎月第3金曜日  
 午後1時30分～3時30分  
 活動場所 仁井田コミュニティセンター

私たち「てわっさの会」は、物作りを通して「仲間作りや交流を深めること」「文化を伝承すること」を目的に、2年前に発足しました。サークルの名前「てわっさ」は、会津地方や栃木県の方言で、手遊びを意味する「てわすら」に由来します。これまで一貫張りのバッグや、つるし雛などを作りました。みんなで集まる活動は月に1回ですが、自宅などでそれぞれ作品作りを進めています。

作り方が分からないときや難しいときは、会員同士で教え合うので、初めての人でも作品を作ることが出来ます。みんなで一つの目標に向かって一生懸命作ったものが完成したときの喜びは、何ものにも代えられません。

完成した作品は、毎年秋に行われる仁井田地区の文化祭に出展していますので、興味のある方はぜひ見に来てください。また、見学もお待ちしております。



tette 情報

tetteでは、市民の皆さんが生涯にわたり学べるよう様々な世代に向けた講座や各種イベント、誰でも楽しむことができる行事などを行っています。詳しくは、tetteホームページやInstagramをご覧ください。



図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

- こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)  
4月13日(土)・27日(土)、5月11日(土) 午後2時30分  
※自由参加(定員20人)
- おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)  
4月17日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)
- ライブラリーシアター  
4月27日(土) 午前10時 ※自由参加



こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

- 親子イベント制作「こいのぼり飾りをつくろう」  
4月19日(金) 午前10時30分～11時  
※事前申込(先着8組)  
制作セットの配布  
4月19日(金)～21日(日)  
※事前申込(先着7組)
- 子育て支援講座「ママのおしゃべり会」  
5月9日(木) 午前10時～11時  
※事前申込(先着6組)
- 親子イベント「誕生カード作り」  
5月15日(水) 午前9時～11時30分  
※事前申込(先着6組)
- 子育て支援講座「スターペアレントング」  
5月16日(木) 午前10時～11時  
※事前申込(先着6組)



ふるさとの遺産

No.356

—学校の今昔—  
稲田小学校 その1  
(大正時代)



稲田尋常小学校での集合写真

稲田地域には5つの村があり、明治6年に開校した稲田小学校を皮切りに、それぞれの村に小学校が置かれました。明治22年に5村が合併した稲田村ができるまで、それまでの小学校は廃止され、新たに岩淵小学校が光明寺に開校しました。

その後、明治43年に現在の稲田学園の場所に校舎を新築することが決まりますが、完成までは隣の空き家を教室として利用しました。当時の児童たちはここを「隠居学校」と呼び、休み時間には庭で野球をしたことなどが、稲田小学校創立100周年記念誌に記されています。

明治44年に校舎が完成し、大正10年には学校名が稲田尋常小学校となりました。増改築はありつつも、現在まで変わらず稲田地域の子どもたちを見守ってきました。

博物館 ☎(75)3239